

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび、坂総合病院 産婦人科では、患者さんの診療情報を活用した医学研究を実施することになりましたので、お知らせいたします。この研究は、当院の倫理委員会の承認を得て行われるものです。このご案内をお読みいただき、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないとお思いになられた方は、お手数ですが下記の連絡先までお知らせください。ご連絡をいただかなかった場合でも、ご了承いただけたものとして、研究を実施させていただきます。

2025 年 9 月 17 日

施設名:宮城厚生協会 坂総合病院

代表者氏名:病院長 富山 陽介

### 【研究課題名】

付属器腫瘍茎捻転における術前炎症マーカー(NLR、PLR)の診断的有用性に関する  
後ろ向き症例対照研究

### 【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2026 年 3 月 31 日

### 【情報の利用目的・方法】

#### <目的>

卵巣や卵管にできた腫瘍がねじれてしまう「付属器腫瘍茎捻転」という病気は、強い痛みを伴い、緊急手術が必要となることがあります。この病気の診断は時に難しく、より迅速で正確な診断方法が求められています。

最近の研究で、血液検査で分かる炎症の値(NLR、PLR)が、この病気の診断の助けになる可能性が示唆されています。

この研究では、過去の患者さんのカルテ情報を分析し、この血液検査の値が「付属器腫瘍茎捻転」の診断に役立つかどうかを調べることを目的としています。この研究で診断の精度が向上することが分かれば、将来の患者さんがより早く適切な治療を受けられるようになる可能性があります。

#### <方法>

この研究は、過去の診療記録(カルテ)の情報をさかのぼって分析する「後ろ向き観察研究」という方法で行います。対象となる患者さんを 2 つのグループに分け、診療情報を集めた後、統計的に比較・分析します

### 【研究対象者】

2017 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に、坂総合病院 産婦人科で以下のいずれかの治療を受けられた患者さんを対象としています。

- ・ 「付属器腫瘍茎捻転」と診断され、手術を受けられた方
- ・ 良性の付属器腫瘍のために予定手術を受けられた方

### 【研究に用いる情報】

この研究では、患者さんのカルテから以下の情報を利用させていただきます。新たな検査や費用のご負担は一切ございません。

- 年齢、BMI(肥満度の指標)、出産回数
- 腫瘍の大きさ、手術の方法
- 手術前に行われた検査(超音波検査、CT 検査、MRI 検査など)の有無
- 手術前の血液検査の結果(白血球数、血小板数、CRP など)

### 【個人情報保護について】

この研究にご協力いただく方のプライバシーは厳重に保護いたします。

カルテから集めた情報は、お名前や住所など個人が特定できる部分を削除し、代わりに符号(番号)を付けて管理いたします(これを「匿名化」といいます)。個人と符号を結び付ける対応表は、外部のインターネットから接続できない専用のパソコンで、パスワードをかけて厳重に管理いたします。

研究の成果を発表する際にも、個人が特定できる情報は一切公開いたしません。

### 【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関するご質問や、ご自身の情報の利用を希望されない場合のご連絡は、下記までお願いいたします。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書や関連資料をご覧くださいことも可能です。

また、患者さんご本人に代わって同意をされた代諾者の方につきましても、同様に研究への情報利用を拒否する権利を有しております。代諾者の方がご拒否される場合も、ご連絡をいただいた方の情報は、研究には一切使用いたしません。

なお、研究への協力を希望されない場合でも、今後の診療等で不利益を受けることは一切ございません。

○ 研究機関名:公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院

○ 診療科:産婦人科

○ 研究責任者:後藤 恵(ごとう めぐみ)

○ 連絡先:022-365-5175(代表)

平日 9:00~16:30、土曜 9:00~12:00 の診療時間内での連絡にご協力  
願います。